

# 令和2年度 事業計画書・予算書

## 法人本部

- ・理事会 評議員会

## 障害福祉サービス事業

- ・生活介護事業 　　いずみ園
- ・共同生活援助事業 短期入所事業 　　増尾台ウィズホーム
- ・放課後等デイサービス事業 　　のぞみ

## 地域生活支援事業

- ・日中一時支援事業 　　たんぽぽ

## 相談支援事業

- ・指定相談支援事業 　　いずみ園相談支援センター

社会福祉法人 緑の会



## 目 次

- 理念 経営目標 . . . . . 1
- 法人本部 . . . . . 2
- 生活介護事業 いずみ園 . . . . . 4
- 共同生活援助事業・短期入所事業  
増尾台ウィズホーム . . . . . 9
- 放課後等デイサービス事業  
のぞみ . . . . . 12
- 日中一時支援事業 たんぽぽ . . . . . 14
- 指定相談支援事業  
いずみ園相談支援センター . . . . . 15
- 令和2年法人全体当初予算書（案） . . . . . 17

別添 資金収支当初予算内訳書



## 【法人理念】

重い障害があっても“何かができる”、1人でできなかつたら“みんなで助け合う”、そして多くの方々との交流を大切にして、地域社会の中に生活の基盤を築いていきたい。

## 【法人経営目標】

1. ノーマライゼーションの理念のもと常に利用者の立場に立つとともに、社会の付託に応えられるよう行動します。
2. 法令を順守し倫理観を持って行動します。
3. 職員が使命観と誇りをもち、自主性、創造性を発揮できる職場環境づくりに努めます。
4. 「地域づくりの視点」にたち、地域の交流を深め、貢献度の向上に努めます。
5. 経営の健全性を保持し、財務基盤の強化に努めます。

## 法人本部

### 【基本方針】

昨年度は利用者が数名、他事業所に異動があるなど、介護給付費収入が大幅に減少しましたが、今年度は利用者を増やすため、積極的に各事業の良さを強調して特別支援学校や自立支援協議会等で宣伝活動を行っていきます。

また、短期入所事業の再開や放課後等デイサービス事業を開始する事で収入を確保していきます。併せて、放課後等デイサービスでは将来のいずみ園の利用に繋がるように努めます。

法人組織の効率的運営の為に、個々の業務の進め方につき、指示命令系統の明確化、職員個々の業務の明確化、及び業務日誌の作成・整備を含む、システムによる組織内情報共有の徹底と透明化を図ります。

職員の体制が整いつつあり、積極的に研修を行い、人材育成に力を入れています。また、人材成長に伴い事業の拡大を検討していきます。

利用者の高齢化に伴い、生活介護を利用できなくなる年齢が近づいています。65歳以上になってもいずみ園を利用できるように共生型サービスを検討していきます。

建物が27年経ち老朽化が進んでいます。修繕が必要な設備を検討し、必要な箇所から修繕をしていきます。

昨年度2月頃より新型コロナウイルスが全国で感染拡大が確認されている中で感染症対策は必須となります。各事業で可能な限りの対策、具体的には職員のマスク着用の義務化や施設、車両の消毒などを徹底します。

### 【重点目標】

1. 法人経営の健全化
2. 組織の効率的運営の推進
3. 人材の育成
4. 共生型サービスの検討
5. 施設設備の修繕
6. 新型コロナウイルスの対応について

【理事会・評議員会】

社会福祉法人緑の会定款に従い、よりよき事業経営のため理事会・評議員会を開催します。また、その他必要に応じて開催します。

〔理事会〕

令和2年 6月11日(木)	令和元年度事業報告・決算、評議員会招集等・補正予算
令和2年 9月10日(木)	業務報告・補正予算
令和2年12月10日(木)	業務報告
令和3年 3月18日(木)	業務報告、令和3年度事業計画・予算

〔評議員会〕

令和2年 6月25日(木)	事業報告・決算 役員報酬基準等
---------------	-----------------

【事業】

(1) 障害福祉サービス事業

生活介護事業

いずみ園

共同生活援助事業

増尾台ウィズホーム

短期入所事業

増尾台ウィズホーム

(2) 地域生活支援事業

日中一時支援事業

たんぼぼ

(3) 相談支援事業

指定相談支援事業

いずみ園相談支援センター

(4) 児童発達支援事業

放課後等デイサービス

のぞみ

## 生活介護事業 いずみ園

### 【基本方針】

新年度は、利用者の個性をより深く理解するために職員全体で個別支援研修を行い、共通理解をして周知徹底をしていきます。

職員一人ひとりの生活支援員としての意識向上が不可欠であり、研修などを行うことで外部の刺激を積極的に取り入れて専門性を高め、利用者支援の向上に努めます。

また、近年は医療ケアの必要な利用者が増加していて看護師のみでは対応が難しくなっているケースもあります。喀痰吸引等研修を積極的に取り入れて、医療的ケア等様々なニーズに対応したいと考えています。

年々利用者の ADL が下がっていることもあり職員の負担が増えています。ロボットスーツなどを積極的に取り入れ負担軽減に努めます。

最後に地域に開かれた施設となるべく、地域社会の中でいずみ園の果たす役割・機能を明確にし、施設が地域のニーズに応えることのできる運営に努めます。

### 【重点目標】

1. 個別支援計画に基づいた職員間の支援方法の統一及び利用者の理解
2. 職員の意識向上のための研修及び医療ケア対応職員の養成
3. 介護機器の活用
4. 利用者送迎をしていない時間帯の送迎車両の有効活用について検討

### 【事業目的】

18歳以上の障害者で、常時介護を必要とする利用者各々に応じた、入浴、排泄又は食事の介護、生産活動・創作活動の機会の提供、その他の便宜を効果的に行うことを目的とします。

### 【事業定員】

いずみ園 40名

### 【職員配置】

いずみ園

1. 施設長（サービス管理責任者兼務） 1名
2. 事務長 1名
3. 生活支援員16名（うち常勤3名、非常勤13名、）
4. 看護師 2名



- 5. 事務員 2名
- 6. 運転手 6名 (内派遣1名)

### 【業務】

#### 1. 利用者支援

- (1) 生活支援 食事介助 排泄介助 入浴介助 送迎支援
- (2) 日中活動支援 健康体操 体操活動 音楽活動 ものづくり活動  
園芸活動 外出活動支援 音楽療法  
アロマセラピー 足湯  
余暇活動 レクリエーション活動 仲間の会活動
- (3) 健康管理 体重測定 バイタルチェック 体温管理

#### 2. 管理

- (1) 総務 文書管理・地域関連
- (2) 経理・労務 会計全般・福利厚生・労働安全・人事労務・契約
- (3) 防災 防災対策計画等防災全般
- (4) 管財 事務機器・車輛管理・施設整備及び管理
- (5) 研修 職員の研修の実施
- (6) 広報 会報 (年1回)、ホームページ管理

### 【会議】

#### 1. 職員会議の開催

職員間の業務に対する共通理解を図り、園内活動をより円滑にまた効果的に行うため職員会議を開催します。

#### 2. ケース会議の開催

利用者個別、全体の状況報告、個別支援計画の変更事項、ヒヤリハット、にやりハット等のいずみ園における利用者支援を効果的に行うためケース会議を開催します。

#### 3. 給食会議の開催

利用者の意見や嗜好調査をした上で給食業者、担当職員による会議を開催します。

### 【研修】

#### 職員研修の実施

社会福祉施設の役割として地域に貢献できるよう、専門性・技術性など福祉専門資格の取得等を含め、施設職員として必要な資質の向上を図るため職員研修を実施します。また行政、社会福祉協議会等の開催する研修会に参加します。

令和2年度研修計画

<p>○人材育成</p> <p>○緑の会事業、それに関連する障害者総合支援法等の学習</p> <p>○他の施設見学、講演会、研修会の実施と参加</p> <p>○内部研修</p> <p>○外部研修</p>	<p>福祉専門職員養成のため、定期的に介護・接遇・障害・保健衛生関するに研修を行います。</p> <p>変化する障害者の法制度について学びに対応します。</p> <p>交流を通して多くの情報を収集するとともに、地域の連携を深めます。</p> <p>個別支援計画職員研修、各人で研修を受けた内容を報告し合い相互のコミュニケーションの技術を高めます。また良識ある社会人としての資質向上のため、職員の教養を深めます。</p> <p>柏市、千葉県社会福祉協議会等が主催する職員の役職に応じた研修、スキルアップ研修に参加し、その後内部研修で報告を行います。</p>
---	---

【日中活動支援】

- (目的) ①自分で選択した活動をとおして、自己決定の重要さや生活していくための技術や知識を身に付ける。
- ②心身ともに健康の維持（二次障害の予防）を図る。
- ③社会参加をとおして多くの人とふれあい、自らを表現する力、見聞きする力、感じようとする力を身に付ける。

(方法) 選択活動（体操・音楽・園芸・ものづくり）

外出活動 健康体操 バザー参加

アロマセラピー 足湯 音楽療法 外出活動 創作活 マッサージ（マッサージ師による） 理学療法（名戸ヶ谷病 PT による）

3. 全体活動

レクリエーション活動 季節行事 仲間の会活動 映画鑑賞

カラオケ 車いすダンス ハンドトリートメント

アニマルセラピー

【地域交流等の開催及び参加】

いずみ園を社会との関りの深い開かれた施設にするため、柏市内外の行事に参加します。

開催時期	地域交流名	場 所
------	-------	-----

令和2年	5月	ニッカ地域ふれあい感謝デー	ニッカウキスキー柏工場
	6月	松戸友の会バザー	松戸友の会
	11月	増尾ふれあいの集い	増尾近隣センター
	11月	松特祭	松戸特別支援学校

### 【行事】

#### 年間諸行事の開催

地域住民の交流と、利用者の生活に潤いを与えるため、四季折々の催しを実施します。

開催時期	行 事	
令和2年	4月	新利用者を迎える会
	7月	七夕飾り
	8月	盆踊り
	10月	いずみ園祭
	12月	クリスマス会
令和3年	1月	新年会
	2月	豆まき 仲間の会活動
	3月	ひな飾り
	未定	外出活動

### 【管理体制】

#### 1. 緊急連絡網の整備

施設の運営上、緊急時に対応するため、職員、利用者の連絡網（メーリングリスト、電話）を作成する。

#### 2. 防災体制の整備

火災震災等に対応するべく、防災訓練を行う。また、火災時に備え自衛消防組織を編成する。

実施予定月	防災訓練内容
6月	消火訓練
9月	避難訓練
11月	総合防災訓練（通報・避難誘導・消火訓練）

実施月により、柏消防署逆井分署の直接指導を受けます。

### 【その他】

#### 1. 大学・専門学校等の学生の受け入れ

- ・介護等体験実習生（教職課程）の受け入れ
- ・社会福祉士実習生の受け入れ

- ・保育実習生の受け入れ
- ・特別支援学校在校生の施設体験受け入れ
- ・小・中・高の職場体験受け入れ
- ・小・中・高の総合学習受け入れ
- ・小、中学校教員の新任者研修の受け入れ

## 2. ボランティアの受け入れ

奉仕活動を希望する地域の人々をボランティアとして受け入れ、利用者の生活支援、行事等さまざまな形で直接・間接的に協力を得ます。介護支援サポーター受け入れ施設としての地域における役割として、ボランティア育成の一端を担います。

## 3. 「いずみ園ボランティアの会」への支援

いずみ園で活動するボランティアの交流、研修、情報交換等のために創られた「いずみ園ボランティアの会」の活動を支援します。

## 4. 保護者会の開催

いずみ園の現状報告や予定をお知らせするとともに、保護者とコミュニケーションを図るため、保護者会を必要に応じて開催いたします。

## 5. 感染症予防対策について

昨年度末に新型コロナウイルスの全国拡大に伴い、いずみ園でもできる限りの対策を行い、開園をしていきます。

## 共同生活援助事業 短期入所事業

### 増尾台ウィズホーム

#### 【基本方針】

重い障害をもつ利用者であっても、その人の尊厳と、その人の想いに寄り添うことを大切にした暮らしをつくり、そして利用者と地域の人たちがお互いに笑顔でいられる関係を構築します。

またグループホームが住まう人・訪れる人にとって、信頼され愛される憩いの場となることを目指します。

#### 【事業目標】

1. 利用者の個別性と自立性を大切にした安全で質の高い生活支援サービスの提供
2. プライバシーとコミュニティが大切にされる環境づくり
3. 高邁な倫理観をもち、かつ質の高い技術のある職員の研修・育成
4. 地域の保健・医療・福祉との連携
5. 地域の人たちとの信頼関係、協同関係の構築

#### 【重点目標】

1. 入居者の生活・精神の安定。
2. 短期入所事業の再開
3. コストの削減

#### 【事業目的】

18歳以上の障害者で、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排泄及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を適切かつ効果的に行うことを目的とします。

#### 【事業定員】

- |        |    |
|--------|----|
| 共同生活援助 | 8名 |
| 短期入所   | 2名 |

#### 【職員配置】

1. 管理者 1名

2. サービス管理責任者（管理者兼務） 1名
3. 世話人 4名
4. 生活支援員 5名

#### 【サービス内容】

- ① 利用者の健康に配慮した食事の提供
  - ・栄養・利用者の身体の状態・希望や嗜好を考慮した食事の提供を行う。また利用者の意見を取り入れ、休日などに外食を実施する。
- ②入浴、排泄、食事の介助
- ③日中活動援助
  - ・日中、生活介護事業所等の他のサービスを利用する場合や職場へ通勤する場合等に、サービス提供事業者や職場等と連絡・調整を行い、利用者の活動を支援する。
- ④健康管理の援助
  - ・日常的健康管理、医療機関の通院の付き添い
- ⑤金銭管理に関する支援
- ⑥利用者に対する相談支援
- ⑦家族との交流
  - ・ホーム行事への参加
- ⑧余暇活動等支援
  - ・休日や余暇時間には利用者のニーズに沿った外出支援、趣味活動支援を行う。
- ⑨地域（近隣住民も含む）との交流
  - ・地域の行事等に参加
- ⑩防災訓練の実施
- ⑪夜間支援
- ⑫帰省時支援
  - ・利用者、ご家族の意向を踏まえて計画する。
- ⑬その他

#### 【非常災害対策】

- ・具体的な非常災害対策計画を立て、非常災害に備えるために利用者個々の障害に合わせて定期的に避難・救出その他必要な訓練を行うとともに、消火設備その他の非常災害に際して必要な設備を設置しています。

**【苦情解決】**

・入居者等からの苦情に迅速かつ適切に対応するため、苦情を受け付けるための窓口を設置する。

**【職員研修の実施】**

・入居者に対し適切なサービスの提供ができるよう、人権の擁護、虐待の防止等に努め、従事者の資質向上のために研修を実施する。

**【ボランティアの受け入れ】**

・奉仕活動を希望する地域の人々をボランティアとして受け入れ、利用者の生活支援、行事等さまざまな形で直接・間接的に協力を得る。福祉施設の地域における役割として、ボランティア育成の一端を担う。

**【ホーム会議】**

・ホーム運営全般についての協議、報告を行うため、また職員間の業務に対する共通理解を図り、利用者支援をより効果的に行うためホーム会議を開催します。

**【利用者ミーティング】**

・利用者と職員でケアホームに対するご要望をお聞きして共通理解を図り、暮らしやすい環境にするため、利用者ミーティングを開催する。

## 放課後等デイサービスのぞみ事業計画書

### 【基本方針】

重症心身障害児、あるいは発達に何らかの問題があり支援を必要とする児童が学校の授業終了後や学校休業日に通い、総合的な療育、相談、訓練を行い、重症心身障害児及びその家族が安全で豊かな、そして健康的で文化的な日常生活を送れるように支援します。

### 【重点目標】

1. 生活能力向上のための活動や体験を行いながら心と体を育むことを支援し、安心してすごせる時間を提供します。
2. 4月には万全の体制で事業を開始し、利用者確保に努めます。
3. 生活介護事業に繋がるように支援していきます。

### 【事業内容】

- 1 個別プログラム  
理学療法、足浴、音楽療法等個々に応じた活動を行います。
- 2 集団生活プログラム  
創作活動 散歩など
- 3 余暇提供  
施設内行事

4月	お花見	1 0 月	いずみ園際
6月		1 2 月	クリスマス会
7月	七夕飾り	1月	書初め
8月	盆踊り	2月	

- 4 個別支援計画
  - ・ 利用者・保護者の意向を把握し、医療機関や保険・福祉・教育の関係事業者など連携して支援を行います。



## 5 送迎

- ・利用者により出来ない場合もあるが原則として送迎を行います。

### 【実施時間】

- ・営業日 月曜日～金曜日 15時～17時  
長期休暇（夏休みなど） 10時～15時
- ・休業日 国民の祝祭日、12月29日から1月3日

### 【利用定員】

5名

### 【利用料金】

- ・原則1割負担（但し、負担上限額を上限とする）
- ・おやつ・・・実費
- ・給食・・・一食350円（形状はご本人に合わせて提供します）

### 【実施場所】

千葉県柏市逆井341

### 【職員体制】

管理者（児童発達支援管理者兼務） 1名  
保育士 1名  
指導員 1名  
看護師 1名  
機能訓練担当職員（外部委託） 1名  
嘱託医（外部委託） 1名

### 【協力医療機関】

医療法人社団宗修会 小沼医院  
千葉県柏市大津ヶ丘4-28-1

## 日中一時支援事業 たんぽぽ

### 【基本方針】

利用者の地域や状況に応じて対応します。また、利用者に創作活動、社会との交流などを提供し、地域生活の支援の促進を図ります。

### 【事業目標】

1. 利用者の基本的人権を尊重し、地域社会との有機的連携により障害者福祉の向上を図ります。
2. 利用者一人ひとりの障害を的確に把握し、効果的な支援に努めます。
3. 職員は職務内容を理解し、専門性を発揮し、日々業務向上に努めます。
4. 施設内の環境美化及び整備に努めます。
5. 施設運営の基本方針を十分に理解把握し、利用者の処遇向上に努めます。

### 【事業目的】

障害児者の支援と日常生活の充実に資することを目的とします。

### 【事業定員】

定員 10名

### 【職員配置】

生活支援員 1名

### 【支援内容】

1. 利用者が、安全で安心して園内で過ごせるように、個別対応し、楽しく一日が過ごせるよう支援します。
2. 希望により送迎を行います。

## 指定相談支援事業 いずみ園相談支援センター

### 【基本方針】

障害者やそのご家族からの相談に応じ、一人ひとり有する能力に応じて、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づく計画相談支援サービスを適切に提供します。

自立した生活を営むには、ご本人、ご家族が孤立せずに地域で暮らしていただける環境が大切です。福祉サービスのみならず、医療分野や民生委員、そのほか近隣住民との関係を築く必要があります。沢山の繋がりを持ち、いざという時の支援の手（社会資源）を増やしていけるよう、様々な会合や研修に参加し、関係作りをしていくのも重要な職務だと思い行動していきます。

また、介護保険との関係が密接であり（障害者の高齢化や高齢のご家族の対応、制度や福祉サービスの基準など）、介護保険分野も広がりを持って学び、地域で暮らす障害者が安心して生活できるよう知識を蓄え取り組んでまいります。

### 【重点目標】

1. 障害分野だけでない関係の構築
2. 研修への参加、周辺知識の蓄え
3. 突発的問題に対する処理、解決能力の向上

### 【事業目的】

障害者等の福祉に関する各般の問題につき、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービス利用支援、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。

### 【職員配置】

相談支援専門員 2名（専任）

### 【指定特定相談支援事業（計画作成）】

#### 1. 事業概要

障害者（児）の自立した生活を支え、障害者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援する。

## 2. 対象者

- ・ 障害福祉サービスまたは地域相談支援を利用するすべての障害者
- ・ 障害福祉サービスを利用するすべての障害児

## 3. 内容

### ○支給決定時（サービス利用支援・障害児支援利用援助）

- ・ 支給決定又は支給決定の変更前に、サービス等利用計画・障害児支援利用計画（以下、「計画」という。）案を作成
- ・ 支給決定又は変更後、サービス事業者等との連絡調整、計画の作成

### ○支給決定後（継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助）

- ・ 厚生労働省令で定める期間ごとに、サービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行う（モニタリング）。
- ・ サービス事業者等の連絡調整、支給決定又は支給決定の変更に係る申請の勧奨。

## 【指定障害児相談支援事業】

### 1. 事業概要

指定特定相談支援事業と同様

### 2. 対象者

障害児通所支援（児童福祉法）を利用するすべての障害児

### 3. 内容

指定特定相談支援事業と同様

# 法人全体 資金収支当初予算書

令和2年4月

法人：社会福祉法人 緑の会

1 / 5

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
< 事業活動による収支 >				
< 収入 >				
障害福祉サービス等事業収入	151,634,779	159,106,000	7,471,221	
自立支援給付費収入	137,438,779	145,340,000	7,901,221	
介護給付費収入	96,831,929	104,104,000	7,272,071	
職員処遇改善加算収入	6,208,581	6,727,000	518,419	
職員特定加算収入	860,257	1,788,000	927,743	
訓練等給付費収入	29,047,012	27,721,000	△1,326,012	
計画相談支援給付費収入	4,491,000	5,000,000	509,000	
障害児施設給付費収入	382,000	500,000	118,000	
障害児相談支援給付費収入	382,000	500,000	118,000	
利用者負担金収入	12,396,000	12,366,000	△30,000	
介護事業	3,674,000	3,664,000	△10,000	
利用料	2,000	2,000	0	
食費	3,647,000	3,647,000	0	
日用品費	25,000	15,000	△10,000	
訓練等事業	8,722,000	8,702,000	△20,000	
家賃	4,320,000	4,320,000	0	
食費・光熱水費・日用品費	3,400,000	3,120,000	△280,000	
管理費	1,002,000	1,002,000	0	
SS	0	260,000	260,000	
その他の事業収入	1,418,000	900,000	△518,000	
補助金事業収入	1,418,000	900,000	△518,000	
柏市	1,368,000	850,000	△518,000	
松戸市	50,000	50,000	0	
経常経費寄附金収入	339,000	120,000	△219,000	
経常経費寄附金収入	339,000	120,000	△219,000	
法人運営基金	250,000	100,000	△150,000	
一般	39,000	10,000	△29,000	
施設寄附	50,000	10,000	△40,000	
受取利息配当金収入	1,000	1,000	0	
受取利息配当金収入	1,000	1,000	0	
その他の収入	254,000	220,000	△34,000	
受入研修費収入	50,000	50,000	0	
利用者等外給食費収入	134,000	100,000	△34,000	
雑収入	70,000	70,000	0	
資源品収入	10,000	10,000	0	
販売収入	50,000	50,000	0	
雑収入	10,000	10,000	0	
事業活動収入計(1)	152,228,779	159,447,000	7,218,221	
< 支出 >				
人件費支出	123,200,000	145,689,000	22,489,000	
役員報酬支出	3,981,000	5,000,000	1,019,000	
職員給料支出	37,259,000	37,617,000	358,000	
職員給料支出	29,510,000	29,110,000	△400,000	
職員諸手当支出	7,749,000	8,507,000	758,000	
管理職手当支出	1,200,000	1,200,000	0	

法人全体 資金収支当初予算書  
令和2年4月

法人：社会福祉法人 緑の会

2 / 5

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
主任手当支出	755,000	480,000	△275,000	
資格手当支出	249,000	120,000	△129,000	
住居手当支出	454,000	456,000	2,000	
扶養手当支出	596,000	420,000	△176,000	
サービス管理手当支出	36,000	36,000	0	
夜勤手当支出	1,900,000	2,400,000	500,000	
超過勤務手当支出	1,472,000	2,160,000	688,000	
通勤手当支出	606,000	635,000	29,000	
運転手当支出	481,000	600,000	119,000	
職員賞与支出	8,898,000	9,373,000	475,000	
職員賞与支出	6,043,000	6,453,000	410,000	
処遇改善手当金支出	2,544,000	2,430,000	△114,000	
職員特定加算支出	311,000	490,000	179,000	
非常勤職員給与支出	59,016,000	76,725,000	17,709,000	
賃金支出	53,994,000	70,305,000	16,311,000	
賃金	44,815,000	58,650,000	13,835,000	
交通費	953,000	1,721,000	768,000	
夜勤手当	2,153,000	2,784,000	631,000	
寸志、賞与	6,073,000	7,150,000	1,077,000	
処遇改善手当金支出	4,242,000	4,910,000	668,000	
職員特定加算支出	780,000	1,510,000	730,000	
退職給付支出	1,291,000	2,067,000	776,000	
退職共済掛金支出	1,291,000	2,067,000	776,000	
法定福利費支出	12,755,000	14,907,000	2,152,000	
健康保険	4,483,000	5,042,000	559,000	
厚生年金	7,207,000	8,736,000	1,529,000	
児童手当拠出金	268,000	319,000	51,000	
労働保険	793,000	808,000	15,000	
一般拠出金	4,000	2,000	△2,000	
事業費支出	14,753,396	13,367,900	△1,385,496	
給食費支出	4,601,900	4,673,900	72,000	
食材料費支出	4,405,000	4,472,000	67,000	
牛乳代	196,900	201,900	5,000	
医薬品費支出	0	407,000	407,000	
保健衛生費支出	1,370,000	1,159,000	△211,000	
薬品衛生費支出	517,000	529,000	12,000	
整体料支出(マッサージ)	853,000	630,000	△223,000	
医療費支出	560,000	223,000	△337,000	
教養娯楽費支出	1,033,680	358,000	△675,680	
教養娯楽費支出	1,028,680	331,000	△697,680	
教養娯楽費支出	1,028,680	331,000	△697,680	
創作活動費支出	5,000	27,000	22,000	
Aグループ	0	0	0	
Bグループ	0	0	0	
園芸	2,000	13,000	11,000	
創作	3,000	14,000	11,000	
本人支給金支出	62,000	0	△62,000	

# 法人全体 資金収支当初予算書

令和2年4月

法人：社会福祉法人 緑の会

3 / 5

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
水道光熱費支出	1,344,000	1,351,000	7,000	
電気	735,000	740,000	5,000	
ガス	175,000	176,000	1,000	
水道	434,000	435,000	1,000	
消耗器具備品費支出	1,278,816	1,186,000	△92,816	
教育指導費支出	57,000	58,000	1,000	
車輛費支出	4,329,000	3,852,000	△477,000	
車検・点検	937,000	506,000	△431,000	
クリーム号	0	0	0	
10人乗り	35,000	0	△35,000	
ラベンダー	324,000	200,000	△124,000	
りんりん号	270,000	100,000	△170,000	
らんらん号	153,000	100,000	△53,000	
リース号	83,000	50,000	△33,000	
エブリー	0	0	0	
レインボー	40,000	30,000	△10,000	
あおぞら号	32,000	26,000	△6,000	
修繕費	275,000	7,000	△268,000	
10人乗り	0	0	0	
ラベンダー	132,000	0	△132,000	
りんりん号	31,000	0	△31,000	
リース号	106,000	0	△106,000	
レインボー	6,000	7,000	1,000	
ガソリン代	1,973,000	2,200,000	227,000	
任意保険	1,114,000	1,139,000	25,000	
車輛備品	30,000	0	△30,000	
修繕費支出	117,000	100,000	△17,000	
機械・器具	117,000	100,000	△17,000	
雑支出	0	0	0	
事務費支出	23,848,000	22,223,000	△1,625,000	
福利厚生費支出	409,000	415,000	6,000	
検診	409,000	415,000	6,000	
その他	0	0	0	
職員被服費支出	53,000	54,000	1,000	
旅費交通費支出	31,000	22,000	△9,000	
旅費交通費支出	26,000	22,000	△4,000	
費用弁償支出	5,000	0	△5,000	
研修研究費支出	100,000	103,000	3,000	
研修研究費支出	100,000	103,000	3,000	
事務消耗品費支出	785,000	766,000	△19,000	
水道光熱費支出	2,336,000	2,508,000	172,000	
電気	1,748,000	1,900,000	152,000	
ガス	176,000	187,000	11,000	
水道	412,000	421,000	9,000	
修繕費支出	1,762,000	0	△1,762,000	
機械器具	334,000	0	△334,000	
各所修繕	1,428,000	0	△1,428,000	

# 法人全体 資金収支当初予算書

令和2年4月

法人：社会福祉法人 緑の会

4 / 5

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
通信運搬費支出	834,000	831,000	△3,000	
電話料	711,000	721,000	10,000	
切手・葉書代	123,000	110,000	△13,000	
配送料	0	0	0	
会議費支出	10,000	6,000	△4,000	
会議費支出	10,000	6,000	△4,000	
共生社会	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
業務委託費支出	12,689,000	12,484,000	△205,000	
ホームページサポート	132,000	135,000	3,000	
警備等	644,000	653,000	9,000	
汚水処理	133,000	136,000	3,000	
トータルサービス	300,000	307,000	7,000	
ソフトメンテナンス	382,000	391,000	9,000	
消防器具メンテナンス	201,000	204,000	3,000	
ポンプメンテナンス	118,000	120,000	2,000	
社会保険労務士社保相談	689,000	704,000	15,000	
給食業務委託	5,757,000	5,887,000	130,000	
会計相談	523,000	535,000	12,000	
法律相談	263,000	269,000	6,000	
電気管理料（日本テクノ）	128,000	131,000	3,000	
医療	0	0	0	
ホームエレベーターメンテナンス費	110,000	110,000	0	
運転手派遣	2,494,000	2,550,000	56,000	
人材紹介	518,000	200,000	△318,000	
その他	297,000	152,000	△145,000	
手数料支出	274,000	282,000	8,000	
振込手数料	77,000	79,000	2,000	
FAX利用手数料	41,000	42,000	1,000	
ゴミ処理	82,000	84,000	2,000	
MBS手数料	58,000	60,000	2,000	
その他手数料	16,000	17,000	1,000	
保険料支出	1,121,000	1,308,000	187,000	
火災保険	624,000	804,000	180,000	
しせつ損害補償	220,000	224,000	4,000	
会社役員賠償責任保険	277,000	280,000	3,000	
賃借料支出	2,494,000	2,486,000	△8,000	
リース料	2,408,000	2,398,000	△10,000	
防犯ビデオ	116,000	114,000	△2,000	
トヨタレンタリース	409,000	407,000	△2,000	
冷凍冷蔵庫	347,000	346,000	△1,000	
モップ・マット	49,000	50,000	1,000	
ビジネスフォン	43,000	41,000	△2,000	
日本テクノシステム一式	241,000	238,000	△3,000	
コニカミノルタ複合機	142,000	139,000	△3,000	
ユニビスタシステムズ請求ソフト	296,000	300,000	4,000	
ユニビスタシステムズ日誌ソフト	623,000	621,000	△2,000	



法人全体 資金収支当初予算書  
令和2年4月

法人：社会福祉法人 緑の会

5 / 5

(単位：円)

勘定科目	前年度予算額	当初予算額	増減	備考
ユニビスタシステムズ相談支援ソフト	142,000	142,000	0	
使用料	86,000	88,000	2,000	
使用料	26,000	27,000	1,000	
インターネット接続料	60,000	61,000	1,000	
租税公課支出	0	0	0	
保守料支出	42,000	42,000	0	
渉外費支出	235,000	210,000	△25,000	
諸会費支出	285,000	291,000	6,000	
車輦費支出	313,000	308,000	△5,000	
車検・点検	27,000	28,000	1,000	
アルト	8,000	8,000	0	
スぺーシア	19,000	20,000	1,000	
修繕費	0	0	0	
アルト	0	0	0	
ガソリン代	107,000	99,000	△8,000	
任意保険	179,000	181,000	2,000	
雑支出	75,000	107,000	32,000	
事務雑支出	75,000	107,000	32,000	
支払利息支出	92,000	92,000	0	
支払利息支出	92,000	92,000	0	
その他の支出	241,000	241,000	0	
雑支出	241,000	241,000	0	
事業活動支出計(2)	162,134,396	181,612,900	19,478,504	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△9,905,617	△22,165,900	△12,260,283	
< 施設整備等による収支 >				
< 収入 >				
固定資産売却収入	50,000	0	△50,000	
車輦運搬具売却収入	50,000	0	△50,000	
施設整備等収入計(4)	50,000	0	△50,000	
< 支出 >				
設備資金借入金元金償還支出	1,980,000	1,980,000	0	
設備資金借入金元金償還支出	1,980,000	1,980,000	0	
固定資産取得支出	112,000	0	△112,000	
器具及び備品取得支出	112,000	0	△112,000	
施設整備等支出計(5)	2,092,000	1,980,000	△112,000	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△2,042,000	△1,980,000	62,000	
< その他の活動による収支 >				
< 収入 >				
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
< 支出 >				
その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
予備費支出(10)	0	2,500,000	2,500,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△11,947,617	△26,645,900	△14,698,283	
前期末支払資金残高(12)	184,455,527	0	△184,455,527	
当期末支払資金残高(11)+(12)	172,507,910	△26,645,900	△199,153,810	

